



JFP リファレンスマニュアル 5 : 標 準、環境、マクロ

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 816-3999-10
2002 年 5 月

Copyright 2002 Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

本製品に含まれる HG 明朝 L、HG-MincyoL-Sun、HG ゴシック B、および HG-GothicB-Sun は、株式会社リコーがリコービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。HG 平成明朝体 W3@X12 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、docs.sun.com、AnswerBook、AnswerBook2 は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社で共同開発されたソフトウェアです。© Copyright OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. © Copyright OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2002 All Rights Reserved.

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK Server/ATOK12」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK Server/ATOK12」にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本製品に含まれる郵便番号辞書 (7 桁/5 桁) は郵政事業庁が公開したデータを元に制作された物です (一部データの加工を行なっています)。

本製品に含まれるフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド '98』に添付のものを使用しています。© 1997 ビレッジセンター

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

DtComboBox ウィジェットと DtSpinBox ウィジェットのプログラムおよびドキュメントは、Interleaf, Inc. から提供されたものです。(© 1993 Interleaf, Inc.)

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。



020320@2851



目次

はじめに 5

JFP リファレンスマニュアル **5**: 標準、環境、マクロ 9

Intro_jfp(5) 10

eucJP(5) 11

iconv_ja(5) 13

PCK(5) 22

はじめに

概要

SunOS リファレンスマニュアルは、初めて SunOS を使用するユーザーやすでにある程度の知識を持っているユーザーのどちらでも対応できるように解説されています。このマニュアルを構成するマニュアルページは一般に参照マニュアルとして作られており、チュートリアルな要素は含んでいません。それぞれのコマンドを実行すると、どのような結果が得られるかについて、詳しく説明されています。なお、各マニュアルページの内容はオンラインでも参照することができます。

このマニュアルは、マニュアルページの内容によっていくつかのセクションに分かれています。各セクションについて以下に簡単に説明します。

- セクション 1 は、オペレーティングシステムで使えるコマンドを説明します。
- セクション 1M は、システム保守や管理用として主に使われるコマンドを説明します。
- セクション 2 は、すべてのシステムコールについて説明します。ほとんどのシステムコールに 1 つまたは複数のエラーがあります。エラーの場合、通常ありえない戻り値が返されます。
- セクション 3 は、さまざまなライブラリ中の関数について説明します。ただし、UNIX システムプリミティブを直接呼び出す関数については、セクション 2 で説明しています。
- セクション 4 は、各種ファイルの形式について説明します。また、ファイル形式を宣言する C 構造体を適用できる場合には随時説明しています。
- セクション 5 は、文字セットテーブルなど他のセクションには該当しないものについて説明します。
- セクション 7 は、特殊なハードウェア周辺装置またはデバイスドライバに関するさまざまな特殊ファイルについて説明します。STREAMS ソフトウェアドライバ、モジュール、またはシステムコールの STREAMS 汎用セットについても説明します。

以下に、このマニュアルの項目を表記されている順に説明します。ほとんどのマニュアルページが下記の項目からなる共通の書式で書かれていますが、必要でない項目については省略されています。たとえば、記述すべきバグがコマンドにない場合などは、「使用上の留意点」という項目はありません。各マニュアルページの詳細は各セクションの intro を、マニュアルページの一般的な情報については man(1) を参照してください。

名前	コマンドや関数の名称と概略が示されています。
形式	コマンドや関数の構文が示されています。標準パスにコマンドやファイルが存在しない場合は、フルパス名が示されます。字体は、コマンド、オプションなどの定数にはボールド体 (bold) を、引数、パラメータ、置換文字などの変数にはイタリック体 (Italic) または <日本語訳> を使用しています。オプションと引数の順番は、アルファベット順です。特別な指定が必要な場合を除いて、1文字の引数、引数のついたオプションの順に書かれています。 以下の文字がそれぞれの項目で使われています。 [] このかっこに囲まれたオプションや引数は省略できません。このかっこが付いていない場合には、引数を必ず指定する必要があります。 ... 省略符号。前の引数に変数を付けたり、引数を複数指定したりできることを意味します (例: 'filename...')。 区切り文字 (セパレータ)。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定できます。 { } この大かっこに囲まれた複数のオプションや引数は省略できます。かっこ内を 1 組として扱います。
プロトコル	この項が使われているのは、プロトコルが記述されているファイルを示すサブセクション 3R だけです。パス名は常にボールド体 (bold) で示されています。
機能説明	コマンドの機能とその動作について説明します。実行時の詳細を説明していますが、オプションの説明や使用例はここでは示されていません。対話形式のコマンド、サブコマンド、リクエスト、マクロ、関数などに関しては「使用法」で説明します。
IOCTL	セクション 7 だけに使用される項です。ioctl(2) システムコールへのパラメータは ioctl と呼ばれ、適切なパラメータを持つデバイスクラスのマニュアルページだけに記載されています。特定のデバイスに関する ioctl は、(そのデバイスのマニュアルページに) アルファベット順に記述されています。デバイスの特定のクラスに関する ioctl は、mtio(7I) のように io で終わる名前が付いているデバイスクラスのマニュアルページに記載されています。

オプション	各オプションがどのように実行されるかを説明しています。「形式」で示されている順に記述されています。オプションの引数はこの項目で説明され、必要な場合はデフォルト値を示します。
オペランド	コマンドのオペランドを一覧表示し、各オペランドがコマンドの動作にどのように影響を及ぼすかを説明しています。
出力	コマンドによって生成される出力 (標準出力、標準エラー、または出力ファイル) を説明しています。
戻り値	値を返す関数の場合、その値を示し、値が返される時の条件を説明しています。関数が 0 や -1 のような一定の値だけを返す場合は、値と説明の形で示され、その他の場合は各関数の戻り値について簡単に説明しています。void として宣言された関数はこの項では扱いません。
エラー	失敗の場合、ほとんどの関数はその理由を示すエラーコードを <code>errno</code> 変数の中に設定します。この項ではエラーコードをアルファベット順に記述し、各エラーの原因となる条件について説明します。同じエラーの原因となる条件が複数ある場合は、エラーコードの下にそれぞれの条件を別々のパラグラフで説明しています。
使用法	この項では、使用する際の手がかりとなる説明が示されています。特定の決まりや機能、詳しい説明の必要なコマンドなどが示されています。組み込み機能については、以下の小項目で説明しています。
	<p>コマンド 修飾子 変数 式 入力文法</p>
使用例	コマンドや関数の使用例または使用方法を説明しています。できるだけ実際に入力するコマンド行とスクリーンに表示される内容を例にしています。例の中には必ず <code>example%</code> のプロンプトが出てきます。スーパーユーザーの場合は <code>example#</code> のプロンプトになります。例では、その説明、変数置換の方法、戻り値が示され、それらのほとんどが「形式」、「機能説明」、「オプション」、「使用法」の項からの実例となっています。
環境	コマンドや関数が影響を与える環境変数を記述し、その影響について簡単に説明しています。
終了ステータス	コマンドが呼び出しプログラムまたはシェルに返す値と、その状態を説明しています。通常、正常終了には 0 が返され、0 以外の値はそれぞれのエラー状態を示します。

ファイル	マニュアルページが参照するファイル、関連ファイル、およびコマンドが作成または必要とするファイルを示し、各ファイルについて簡単に説明しています。
属性	属性タイプとその対応する値を定義することにより、コマンド、ユーティリティ、およびデバイスドライバの特性を一覧しています。詳細は <code>attributes(5)</code> を参照してください。
関連項目	関連するマニュアルページ、当社のマニュアル、および一般の出版物が示されています。
診断	エラーの発生状況と診断メッセージが示されています。メッセージはボールド体 (bold) で、変数はイタリック体 (<i>Italic</i>) または <日本語訳> で示されており、C ロケール時の表示形式です。
警告	作業に支障を与えるような現象について説明しています。診断メッセージではありません。
注意事項	それぞれの項に該当しない追加情報が示されています。マニュアルページの内容とは直接関係のない事柄も参照用に扱っています。ここでは重要な情報については説明していません。
使用上の留意点	すでに発見されているバグについて説明しています。可能な場合は対処法も示しています。

JFP リファレンスマニュアル 5: 標準、 環境、マクロ

Intro_jfp(5)

名前	Intro_jfp, intro_jfp – その他の序章
機能説明	このセクションでは、次の項目について説明します。
ヘッダー	ヘッダー (.h) ファイル fcntl, floatingpoint, math, langinfo, nl _types, siginfo, signal, stat, stdarg, types, ucontext, values, va (wstat のマニュアルページで説明) について記述します。
環境	ユーザー環境 (environ)、言語や文化規約によるユーザー環境のサブセット(locale)、大規模ファイルのコンパイル環境 (lfcompile)、変換のコンパイル環境(lfcompile64) について記述します。
マクロ	参照用マニュアルページ (man と mansun) を書式化するマクロを、その他のテキストを書式化するマクロ (me, mm, ms) と同じように記述します。
文字	文字セット (ascii, charmap, eqnchar, iconv) のテーブル、ファイルの書式化指定 (formats)、ファイル名のパターンマッチング(fnmatch)、正規表現(regex と regexp) について記述します。
FNS	フェデレーテッド・ネーミング・サービス (fns, fns_initial_context, fns_policies, fns_references) に関する項目について記述します。
標準	POSIX (IEEE) 標準と X/Open 仕様について standards のマニュアルページで記述します。
一覧	名前 説明
	Intro_jfp(5) その他の序章
	eucJP(5) 日本語 EUC と文字集合のマップ
	eucjp(5) eucJP(5) を参照
	iconv_ja(5) ja ロケールのコード変換
	PCK(5) PCK と文字集合のマップ
	pck(5) PCK(5) を参照

名前 eucJP, eucjp – 日本語 EUC と文字集合のマッピング

機能説明 SunOS および JFP では、ja ロケールにおける日本語を含む複数バイト言語を表現する文字コード体系として、日本語 EUC (拡張 UNIX コード) を採用しています。このマニュアルページでは、日本語 EUC と文字集合のマッピングについて説明します。

日本語 EUC と文字集合は、次のように対応しています (ここで SS2 は 0x8e、SS3 は 0x8f を表します)。

日本語 EUC	文字集合
0x00 – 0x19	JIS X 0201-1976 機能キャラクタ集合
0x20	JIS X 0201-1976 間隔文字
0x21 – 0x7e	JIS X 0201-1976 ローマ文字用図形キャラクタ集合
0x7f	JIS X 0201-1976 抹消文字
0x80 – 0x9f	ISO 6429 C1 制御文字 (0x8e, 0x8f を除く)
SS2 0xa1 – 0xdf	JIS X 0201-1976 片仮名用図形キャラクタ集合 (文字未定義領域 E/0 – F/14 は含まない)
SS3 0xa1a1 – 0xa1fe	JIS X 0212-1990 (1 区 1 点 – 1 区 94 点)
SS3 0xa2a1 – 0xa2fe	JIS X 0212-1990 (2 区 1 点 – 2 区 94 点)
:	:
:	:
SS3 0xf3a1 – 0xf3fe	JIS X 0212-1990 (83 区 1 点 – 83 区 94 点)
SS3 0xf4a1 – 0xf4fe	JIS X 0212-1990 (84 区 1 点 – 84 区 94 点)
0xa1a1 – 0xa1fe	JIS X 0208-1990 (1 区 1 点 – 1 区 94 点)
0xa2a1 – 0xa2fe	JIS X 0208-1990 (2 区 1 点 – 2 区 94 点)
:	:
:	:
0xf3a1 – 0xf3fe	JIS X 0208-1990 (83 区 1 点 – 83 区 94 点)
0xf4a1 – 0xf4fe	JIS X 0208-1990 (84 区 1 点 – 84 区 94 点)

各文字集合は、日本語 EUC の拡張コードセット番号と次のように対応しています。

文字集合 (符号化文字集合)	日本語 EUC の拡張コードセット番号
JIS X 0201 ローマ文字用図形キャラクタ集合	0

eucJP(5)

文字集合 (符号化文字集合)	日本語 EUC の拡張コードセット番号
JIS X 0208-1990	1
JIS X 0201 カタカナ用図形キャラクタ集合	2
JIS X 0212-1990	3

注意事項 日本語 EUC で次の範囲は特別な意味を持ちます。

日本語 EUC	文字集合の区域	意味
SS3 0xf3a1 - 0xf4fe	JIS X 0212-1990 83 区 - 84 区	ベンダー定義文字 (JIS X 0212-1990 に含まれない IBM 拡張文字)
SS3 0xf5a1 - 0xfefe		ユーザー定義文字 11 区 - 20 区
0xada1 - 0xadfe	JIS X 0208-1990 13 区	ベンダー定義文字 (特殊記号)
0xf5a1 - 0xfefe		ユーザー定義文字 1 区 - 10 区

関連項目 PCK(5)

名前 iconv_ja - ja ロケールのコード変換

機能説明 ja ロケールでは、以下のコードセット変換が可能です。

サポートしているコードセット変換	
変換元文字集合	変換先文字集合
eucJP	PCK
eucJP	ISO-2022-JP
eucJP	ISO-2022-JP.RFC1468
eucJP	JIS7
eucJP	SJIS
eucJP	UTF-8
eucJP	UTF-8-Java
eucJP	jis
eucJP	ibmj
eucJP	ibmj-EBCDIK
SJIS	eucJP
SJIS	ISO-2022-JP
SJIS	UTF-8
SJIS	jis
SJIS	ibmj
PCK	eucJP
PCK	UTF-8
PCK	UTF-8-Java
PCK	ISO-2022-JP
PCK	ISO-2022-JP.RFC1468
PCK	jis
PCK	ibmj
PCK	ibmj-EBCDIK
ISO-2022-JP	eucJP
ISO-2022-JP	PCK

iconv_ja(5)

ISO-2022-JP	SJIS
ISO-2022-JP	UTF-8
UTF-8	eucJP
UTF-8	SJIS
UTF-8	PCK
UTF-8	ISO-2022-JP
UTF-8	ISO-2022-JP.RFC1468
UTF-8-Java	eucJP
UTF-8-Java	PCK
JIS7	eucJP
jis	eucJP
jis	PCK
jis	SJIS
ibmj	eucJP
ibmj	PCK
ibmj	SJIS
ibmj-EBCDIK	eucJP
ibmj-EBCDIK	PCK

サポートしているコードセット変換	
変換元文字集合	変換先文字集合
eucJP	ibm930
eucJP	ibm931
eucJP	ibm939
eucJP	ibm5026
eucJP	ibm5035
PCK	ibm930
PCK	ibm931
PCK	ibm939
PCK	ibm5026

PCK	ibm5035
UTF-8	ibm930
UTF-8	ibm931
UTF-8	ibm939
UTF-8	ibm5026
UTF-8	ibm5035
UTF-8	ms932
UTF-8	UTF-8-ms932
UTF-8-ms932	UTF-8
ibm930	eucJP
ibm930	PCK
ibm930	UTF-8
ibm931	eucJP
ibm931	PCK
ibm931	UTF-8
ibm939	eucJP
ibm939	PCK
ibm939	UTF-8
ibm5026	eucJP
ibm5026	PCK
ibm5026	UTF-8
ibm5035	eucJP
ibm5035	PCK
ibm5035	UTF-8

サポートしているコードセット変換	
変換元文字集合	変換先文字集合
FujitsuJEF-ascii-code	eucJP
FujitsuJEF-ascii-code	PCK
FujitsuJEF-ascii-code	UTF-8

iconv_ja(5)

FujitsuJEF-kana-code	euclJP
FujitsuJEF-kana-code	PCK
FujitsuJEF-kana-code	UTF-8
FujitsuJEF-ascii-face	euclJP
FujitsuJEF-ascii-face	PCK
FujitsuJEF-ascii-face	UTF-8
FujitsuJEF-kana-face	euclJP
FujitsuJEF-kana-face	PCK
FujitsuJEF-kana-face	UTF-8
HitachiKEIS83	euclJP
HitachiKEIS83	PCK
HitachiKEIS83	UTF-8
HitachiKEIS90	euclJP
HitachiKEIS90	PCK
HitachiKEIS90	UTF-8
NECJIPS	euclJP
NECJIPS	PCK
NECJIPS	UTF-8
ms932	UTF-8

上記の文字集合の意味は以下のとおりです。

符号化文字集合の意味	
文字集合名	意味
euclJP	日本語 EUC
PCK	PC 漢字
SJIS	PC 漢字と同じ (将来はなくなる予定)
ISO-2022-JP	ISO 2022 情報交換用符号による G0 への指示機能を用いて UI/OSF 日本語環境実装規約 Version 1.1 の項目 7.1 の規定に従い表現された、ISO 646 IRV または JIS X 0201、JIS X 0208、および JIS X 0212
JIS7	ISO-2022-JP と同じ

ISO-2022-JP.RFC1468	ISO 2022 情報交換用符号による G0 への指示機能を用いて RFC1468 (Request for Comments: 1468 Japanese Character Encoding for Internet Messages) の規定に従い表現された、ISO 646 IRV または JIS X 0201-1976 (片仮名用図形キャラクタ集合を除く) および JIS X 0208-1983
jis	JLE、JFP 2.4 以前に提供されていた 7 ビット JIS コード
ibmj	IBM 漢字コード
ibmj-EBCDIK	IBM ホストコードの 1 バイトコードセット (SBCS) に、一般に「EBCDIK」と呼ばれるコードセットと同じ文字セットを割り当てる。この文字セットは IBM のコードページ 290 に ' (0x79)、' (0xc0)、' (0xd0) の 3 文字を加えたもので、カタカナ文字を含むが英小文字は含まない。2 バイトコードセット (DBCS) に関してはコードセット名「ibmj」の場合と同じ
UTF-8	UNI CODE
UTF-8-Java	Java で実装されている UNICODE

符号化文字集合の意味	
文字集合名	意味
ibm930	IBM CCSID 930: SBSC コードページ 290 (拡張)、文字セット 1172、DBCS コードページ 300、文字セット 1001 ユーザー定義文字 4370 文字
ibm931	IBM CCSID 931: SBSC コードページ 37、文字セット 101、DBCS コードページ 300、文字セット 1001 ユーザー定義文字 4370 文字
ibm939	IBM CCSID 930: SBSC コードページ 1027、文字セット 1172、DBCS コードページ 300、文字セット 1001 ユーザー定義文字 4370 文字
ibm5026	IBM CCSID 5026: ユーザー定義文字が 1880 文字である点以外は ibm930 と同じ
ibm5035	IBM CCSID 5035: ユーザー定義文字が 1880 文字である点以外は ibm939 と同じ
FujitsuJEF-ascii-code	富士通 JEF コードで、1 バイト文字セットが EBCDIC (ASCII) であるもの。JIS C 6226:1978 と JIS X 0208:1983 の間で扱いの異なる文字については、コード値に基づいた変換を行う。
FujitsuJEF-ascii-face	富士通 JEF コードで、1 バイト文字セットが EBCDIC (ASCII) であるもの。JIS C 6226:1978 と JIS X 0208:1983 の間で扱いの異なる文字については、字形に基づいた変換を行う。
FujitsuJEF-kana-code	富士通 JEF コードで、1 バイト文字セットが EBCDIC (カナ) であるもの。JIS C 6226:1978 と JIS X 0208:1983 の間で扱いの異なる文字については、コード値に基づいた変換を行う。

iconv_ja(5)

FujitsuJEF-kana-face	富士通 JEF コードで、1 バイト文字セットが EBCDIC (カナ) であるもの。JIS C 6226:1978 と JIS X 0208:1983 の間で扱いの異なる文字については、字形に基づいた変換を行う。
HitachiKEIS83	日立 KEIS83
HitachiKEIS90	日立 KEIS90
NECJIPS	NEC JIPS コード
ms932	Windows NT 3.51 で使用されているシフト JIS コード。このコードセットと UTF-8 との間の変換では Windows NT 3.51 と同様の文字の対応を行う。
UTF-8-ms932	ms932 から変換された UTF-8 表現の Unicode

変換処理は、以下に示すように行われます。各変換処理は変換元の文字集合に含まれるが、変換先の文字集合に含まれない場合には、すべて「置換文字」に変換されて出力されます。

eucJP から PCK (SJIS) ・ PCK (SJIS) から eucJP

eucJP と PCK (SJIS) 間の変換は、「TOG 日本語ベンダ協議会推奨日本語 EUC ・ シフト JIS 間コード変換仕様」に基づいて JIS X 0201、JIS X 0208、JIS X 0212 とユーザーおよびベンダー定義文字が変換可能です。変換元の文字集合に属さない入力データが与えられた場合は、iconv(3C) は errno に EILSEQ を設定して戻ります。iconv(1) は、最後に変換が成功した箇所ですべて終了します。

eucJP から ISO-2022-JP (JIS7) ・ ISO-2022-JP (JIS7) から eucJP

eucJP と ISO-2022-JP (JIS7) 間の変換は、JIS X 0201、JIS X 0208、JIS X 0212 の文字が変換可能です。変換元の文字集合に属さない入力データが与えられた場合は、iconv(3C) は errno に EILSEQ を設定して戻ります。iconv(1) は、最後に変換が成功した箇所ですべて終了します。

eucJP から ISO-2022-JP.RFC1468

eucJP から ISO-2022-JP.RFC1468 への変換は、JIS X 0201 (片仮名用図形キャラクタ集合を除く) および JIS X 0208 が変換可能です。JIS X 0201 (片仮名用図形キャラクタ集合)、JIS X 0212、ユーザー定義文字およびベンダー定義文字が与えられた場合は置換文字「？」(0x3f)に変換されます。変換元の文字集合に属さない入力データが与えられた場合は、iconv(3C) は errno に EILSEQ を設定して戻ります。iconv(1) は、最後に変換が成功した箇所ですべて終了します。

eucJP から jis ・ jis から eucJP

eucJP と jis 間の変換は、ujtojis7() および jis7touj() ライブラリと、euctojis および jistoeuc ユーティリティとの互換性を保つために提供されますが、JIS X 0212 を扱えるように拡張されています。jistoeuc(1) を参照してください。

eucJP から UTF-8 ・ UTF-8 から eucJP

eucJP と UTF-8 間の変換は、JIS X 0201、JIS X 0208、JIS X 0212 とユーザーおよびベンダー定義文字が変換可能です。変換先の文字集合に対応する文字のない入力データが与えられた場合は、置換文字 (eucJP: 「？」(0x3f)、UTF-8: U+FFFD

(0xefbfbfd))に変換されます。変換元の文字集合に属さない入力データが与えられた場合は、iconv(3C)はerrnoにEILSEQを設定して戻ります。iconv(1)は、最後に変換が成功した箇所ですべて終了します。

eucJP から UTF-8-Java ・ UTF-8-Java から eucJP

eucJP と UTF-8-Java 間の変換は、JIS X 0201、JIS X 0208、JIS X 0212 の文字が変換可能です。入力データとしてユーザー定義文字またはベンダー定義文字が与えられた場合は、置換文字 (eucJP: 「?」 (0x3f)、UTF-8: U+FFFD (0xefbfbfd)) に変換されます。変換元の文字集合に属さない入力データが与えられた場合は、iconv(3C)はerrnoにEILSEQを設定して戻ります。iconv(1)は、最後に変換が成功した箇所ですべて終了します。

eucJP から ibmj ・ ibmj から eucJP

eucJP と ibmj 間の変換は、IBM 漢字コード一覧表 (第 4 版、1987 年 9 月)、JIS X 0201 および JIS X 0208-1983 に基づいています。eucJP から ibmj に変換する場合、JIS X 0201 カナおよび JIS X 0212 はすべて「置換文字」に変換されます。

eucJP から ibmj-EBCDIK ・ ibmj-EBCDIK から eucJP

eucJP と ibmj-EBCDIK 間の変換は、IBM 漢字コード一覧表 (第 4 版、1987 年 9 月)、JIS X 0201 および JIS X 0208-1983 に基づいています。eucJP から ibmj-EBCDIK に変換する場合、ibmj-EBCDIK 側に対応する文字のない JIS X 0201 英小文字および JIS X 0212 文字はすべて「置換文字」に変換されます。

PCK (SJIS) から ISO-2022-JP ・ ISO-2022-JP から PCK (SJIS)

PCK (SJIS) と ISO-2022-JP 間の変換は、「TOG 日本語ベンダ協議会推奨日本語 EUC ・ シフト JIS 間コード変換仕様」に基づいて、JIS X 0201、JIS X 0208、JIS X 0212 とユーザーおよびベンダー定義文字が変換可能です。変換元の文字集合に属さない入力データが与えられた場合は、iconv(3C)はerrnoにEILSEQを設定して戻ります。iconv(1)は、最後に変換が成功した箇所ですべて終了します。

PCK (SJIS) から ISO-2022-JP.RFC1468

PCK (SJIS) から ISO-2022-JP.RFC1468 への変換は、JIS X 0201 (片仮名用図形キャラクタ集合を除く) および JIS X 0208 が変換可能です。JIS X 0201 (片仮名用図形キャラクタ集合)、ユーザー定義文字およびベンダー定義文字が与えられた場合は置換文字 「?」 (0x3f) に変換されます。変換元の文字集合に属さない入力データが与えられた場合は、iconv(3C)はerrnoにEILSEQを設定して戻ります。iconv(1)は、最後に変換が成功した箇所ですべて終了します。

PCK (SJIS) から UTF-8 ・ UTF-8 から PCK (SJIS)

PCK (SJIS) と UTF-8 間の変換は、JIS X 0201、JIS X 0208 とユーザー定義文字およびベンダー定義文字が変換可能です。変換先の文字集合に対応する文字のない入力データが与えられた場合は、置換文字 (PCK: 「?」 (0x3f)、UTF-8: U+FFFD (0xefbfbfd)) に変換されます。変換元の文字集合に属さない入力データが与えられた場合は、iconv(3C)はerrnoにEILSEQを設定して戻ります。iconv(1)は、最後に変換が成功した箇所ですべて終了します。

PCK (SJIS) から UTF-8-Java ・ UTF-8-Java から PCK (SJIS)

PCK (SJIS) と UTF-8-Java 間の変換は、JIS X 0201、JIS X 0208 の文字が変換可能です。入力データとしてユーザー定義文字またはベンダー定義文字が与えられた場合は、置換文字 (PCK: 「?」 (0x3f)、UTF-8: U+FFFD (0xefbfbfd)) に変換されます。変

換元の文字集合に属さない入力データが与えられた場合は、iconv(3C) は errno に EILSEQ を設定して戻ります。iconv(1) は、最後に変換が成功した箇所を終了します。

PCK (SJIS) から jis・jis から PCK (SJIS)

PCK (SJIS) と jis 間の変換は、sjtojis7() および jis7tosj() ライブラリと、sjtojis および jistosj ユーティリティとの互換性を保つために提供されますが、「TOG 日本語ベンダ協議会推奨日本語 EUC・シフト JIS 間コード変換仕様」に基づいて拡張されています。jistoec(1) を参照してください。

PCK (SJIS) から ibmj・ibmj から PCK (SJIS)

PCK (SJIS) と ibmj 間の変換は、IBM 漢字コード一覧表 (第 4 版、1987 年 9 月)、JIS X 0201 および JIS X 0208-1983 に基づいています。PCK (SJIS) から ibmj に変換する場合、0xa1 から 0xdf のカナ文字および「TOG 日本語ベンダ協議会推奨日本語 EUC・シフト JIS 間コード変換仕様」によって JIS X 0212 領域へ変換される文字はすべて「置換文字」に変換されます。

PCK から ibmj-EBCDIK・ibmj-EBCDIK から PCK

PCK と ibmj-EBCDIK 間の変換は、IBM 漢字コード一覧表 (第 4 版、1987 年 9 月)、JIS X 0201 および JIS X 0208-1983 に基づいています。PCK から ibmj-EBCDIK に変換する場合、JIS X 0201 の英小文字および「TOG 日本語ベンダ協議会推奨日本語 EUC・シフト JIS 間コード変換仕様」によって JIS X 0212 領域へ変換される文字はすべて「置換文字」に変換されます。

ISO-2022-JP から UTF-8・UTF-8 から ISO-2022-JP

ISO-2022-JP と UTF-8 間の変換は、JIS X 0201、JIS X 0208、JIS X 0212 とユーザー定義文字およびベンダー定義文字が変換可能です。変換先の文字集合に対応する文字のない入力データが与えられた場合は、置換文字 (ISO-2022-JP: 「?」 (0x3f)、UTF-8: U+FFFD (0xefbfbfd)) に変換されます。変換元の文字集合に属さない入力データが与えられた場合は、iconv(3C) は errno に EILSEQ を設定して戻ります。iconv(1) は、最後に変換が成功した箇所を終了します。

UTF-8 から ISO-2022-JP.RFC1468

UTF-8 から ISO-2022-JP.RFC1468 への変換は、JIS X 0201 (片仮名用図形キャラクタ集合を除く) および JIS X 0208 が変換可能です。JIS X 0201 (片仮名用図形キャラクタ集合)、JIS X 0212、ユーザー定義文字およびベンダー定義文字が与えられた場合は置換文字 「?」 (0x3f) に変換されます。変換元の文字集合に属さない入力データが与えられた場合は、iconv(3C) は errno に EILSEQ を設定して戻ります。iconv(1) は、最後に変換が成功した箇所を終了します。

eucJP,PCK,UTF-8 から ibm930,ibm931,ibm939,ibm5026,ibm5035

eucJP,PCK,UTF-8 から ibm930,ibm931,ibm939,ibm5026,ibm5035 への変換は、JIS X 0201、JIS X 0208、JIS X 0212、IBM 拡張文字、ユーザー定義文字の変換が可能です。変換先の文字集合に対応する文字のない入力データが与えられた場合は、置換文字に変換されます。ibm931 は 1 バイト文字セット (SBCS) にカタカナを含まないため、ibm931 への変換では JIS X 0201 カナ文字は置換文字に変換されます。

ibm930,ibm931,ibm939,ibm5026,ibm5035 から eucJP,PCK,UTF-8

ibm930, ibm931,ibm939,ibm5026,ibm5035 から eucJP,PCK,UTF-8 への変換は、それぞれの IBM コード化文字セットでサポートされている文字の変換が可能です。変換先の文字集合に対応する文字のない入力データが与えられた場合は、置換文字に変換されます。

FujitsuJEF-ascii-code,FujitsuJEF-kana-code から eucJP,PCK,UTF-8 ・ eucJP,PCK,UTF-8 から FujitsuJEF-ascii-code,FujitsuJEF-kana-code

X 0201、JIS X 0208、JIS X 0212 で定義された文字を変換できます。変換先に対応する文字がない場合は置換文字に変換します。JIS C 6226:1978 と JIS X 0208:1983 の間で扱いの異なる文字については、コード値に基づいた変換を行います。FujitsuJEF-kana-code への変換の場合、JIS X 0201 のカタカナは置換文字に変換します。

FujitsuJEF-ascii-face,FujitsuJEF-kana-face から eucJP,PCK,UTF-8 ・ eucJP,PCK,UTF-8 から FujitsuJEF-ascii-face,FujitsuJEF-kana-face

JIS C 6226:1978 と JIS X 0208:1983 の間で扱いの異なる文字については、字形に基づいた変換を行います。その他の動作については、対応する FujitsuJEF-ascii-code または FujitsuJEF-kana-code の場合と同様です。

HitachiKEIS83 から eucJP,PCK,UTF-8 ・ eucJP,PCK,UTF-8 から HitachiKEIS83

X 0201、JIS X 0208、JIS X 0212 で定義された文字を変換できます。変換先に対応する文字がない場合は置換文字に変換します。

HitachiKEIS90 から eucJP,PCK,UTF-8 ・ eucJP,PCK,UTF-8 から HitachiKEIS90

JIS X 0201、JIS X 0208、JIS X 0212 で定義された文字を変換できます。変換先に対応する文字がない場合は置換文字に変換します。JIPS コードの 1 バイト文字セットとして EBCDIC カタカナ (EK) コードを使用します。

ms932 から UTF-8 ・ UTF-8 から ms932

ms932 と UTF-8 との間の変換は、シフト JIS コード (ms932) と Unicode の間の文字の対応を Windows NT 3.51 で実装されているのと同じ方法で行います。

UTF-8 から UTF-8-ms932 ・ UTF-8-ms932 から UTF-8

「UTF-8」は変換元文字集合 PCK から変換された結果の Unicode (UTF-8 表現)、
「UTF-8-ms932」は変換元文字集合 ms932 から変換された結果の Unicode (UTF-8 表現) とし、それら相互の変換を行います。

関連項目 iconv(1), jistoeuc(1), jistosj(1), iconv(3C), iconv(5), iconv_unicode(5)

PCK(5)

名前 PCK, pck – PCK と文字集合のマッピング

機能説明 PCK とは PC 漢字コードの略で、シフト JIS (MS 漢字) コードの別称です。このマニュアルページでは、PCK と文字集合のマッピングについて説明します。

PCK では、JIS X 0208–1990 などに対応する漢字コードのそれぞれの 1 バイト目が 0x00–0x7f および 0xa1–0xdf 以外になるように、次のように PCK コードを割り当てています。

PCK	文字集合
0x00 – 0x19	JIS X 0201–1976 機能キャラクタ集合
0x20	JIS X 0201–1976 間隔文字
0x21 – 0x7e	JIS X 0201–1976 ローマ文字用図形キャラクタ集合
0x7f	JIS X 0201–1976 抹消文字
0xa1 – 0xdf	JIS X 0201–1976 片仮名用図形キャラクタ集合 (文字未定義領域 E/0 – F/14 は含まない)
0x8140 – 0x817e	JIS X 0208–1990 (1 区 1 点 – 1 区 63 点)
0x8180 – 0x819e	JIS X 0208–1990 (1 区 64 点 – 1 区 94 点)
0x819f – 0x81fc	JIS X 0208–1990 (2 区 1 点 – 2 区 94 点)
:	:
:	:
0x9f9f – 0x9ffc	JIS X 0208–1990 (62 区 1 点 – 62 区 94 点)
0xe040 – 0xe07e	JIS X 0208–1990 (63 区 1 点 – 63 区 63 点)
:	:
:	:
0xea40 – 0xea7e	JIS X 0208–1990 (83 区 1 点 – 83 区 63 点)
0xea80 – 0xea9e	JIS X 0208–1990 (83 区 64 点 – 83 区 94 点)
0xea9f – 0xeafc	JIS X 0208–1990 (84 区 1 点 – 84 区 94 点)

日本語 EUC との主な相違点を次に示します。

- 日本語 EUC のコードセット 3 に対応する文字集合 (JIS X 0212–1990) は、ベンダー定義文字 (IBM 拡張文字) (「注意事項」参照) の一部を除いて割り当てられていません。
- 日本語 EUC の C1 制御コードに対応する文字集合は割り当てられていません。

注意事項 PCK で以下の範囲は、特別な意味を持ちます。

PCK	文字集合の区域	意味
0x8740 – 0x879e	JIS X 0208-1990 13 区	ベンダー定義文字 (特殊記号)
0xeb40 – 0xecfc		無効
0xed40 – 0xeffc		ベンダー定義文字 (NEC 選定 IBM 拡張文字)
0xf040 – 0xf9fc		ユーザー定義文字 1 区 – 20 区
0xfa40 – 0xfcfc		ベンダー定義文字 (IBM 拡張文字)

関連項目 eucJP(5)

PCK(5)